

3 昭和52年度市町村教育委員会

育成指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会の事務局職員、教育委員及び教育長の研修会等を開催し、必要な助言指導を行うとともに、昭和53年度予算編成に対する要望事項昭和52年度教育費の実態に関する資料を配布し、市町村教育委員会の育成強化に努めた。

(1) 昭和52年度市町村教育委員会事務局職員研修会

① 趣 旨

社会情勢の変化と教育行政の近代化にともない、教育行政はますます複雑多岐となり、関係職員のすぐれた事務能力と公務員としての正しい姿勢が求められる現状にかんがみ、市町村教育委員会関係職員の資質と事務処理能力をたかめることを目的とする。

② 主 催

福島県教育委員会

福島県市町村教育委員会連絡協議会

開催地（福島市、西郷村、下郷町、双葉町）教育委員会

③ 期日及び会場

ア 町村教育委員会事務局職員

- ・ 県 北 7月19日(火)～20日(水) 福島市飯坂
- ・ 県中・県南 7月22日(金)～23日(土) 西郷村甲子
- ・ 会 津 8月1日(月)～2日(火) 下郷町湯ノ上
- ・ 浜 8月4日(木)～5日(金) 双葉町

イ 都市教育委員会事務局職員

- ・ 県内一同 7月19日(火)～20日(水) 福島市飯坂
総務課の庶務係と学校教育の庶務係を対象とする。

④ 講師・助言者

開催地区市町村教育委員会教育長及び事務局職員

県教育庁総務課長	佐藤 昌志
〃 主幹	若杉 栄
〃 主任管理主事兼行政係長	福井 淳夫
〃 指導主事	佐久間睦夫
市町村教委連絡協議会事務長	鈴木 正恵
各会場地区教育事務所長・次長・管理課長・管理主事	

⑤ 研修内容

第1日

○ 講 話

- ・ 当面する地方教育行政上の諸問題
- ・ 地方教育行政に関する一般教養

○ 質問事項について

- ・ 質問事項に対する回答と質疑

○ 研究発表

第2日

○ 講 話

- ・ 就学援助費補助金について

○ 研究協議

- ・ 研究協議と情報交換

○ 全体指導

⑥ 参加人数 140名

(2) 第13回福島県市町村教育委員会委員研修大会

① 目 的

社会情勢の変化に伴って、国民の日常生活に厳しい反省と改善が望まれ、教育に対する要求も複雑多岐にわたってきている。教育行政の第一線にある市町村教育委員会は、これらの事態を正しく認識し、的確な展望と洞察に立って、その責務を果たしていかなければならない。

このような時期にあたり、教育委員みずからの資質の向上をはかるために本研修大会を開催する。

② 主 催

福島県教育委員会

福島県市町村教育委員会連絡協議会

喜多方教育委員会

③ 期 日

昭和52年9月6日(火) 11:00～15:00

④ 会 場

喜多方市厚生会館

⑤ 講師及び演題

演 題

「日本教育における不易と流行」

国立教育研究所長

平塚 益徳

⑥ 参加者 530名

(3) 昭和52年度福島県市町村教育委員会教育長研修会

① 目 的

市町村教育委員会の当面する教育行政施策の基本問題について共通理解を深め、最近の文教施策の動向に適應する教育行政の運営に資し、その充実をはかる。

② 主 催

福島県教育委員会

福島県市町村教育委員会連絡協議会

③ 期 日

昭和52年11月28日(月)～29日(火)

④ 会 場

福島市飯坂町（あづま荘）

⑤ 講 師

県教育庁総務課長	佐藤 昌志
〃 義務教育課長	埴 保貞
〃 社会教育課長	佐藤利三郎
〃 保健体育課長	高崎 剛
〃 義務教育課主幹	丑込 幸男
〃 〃	平沢 一郎
〃 総務課主幹	若杉 栄
〃 主任管理主事兼行政係長	福井 淳夫
〃 指導主事	佐久間睦夫
県市町村教育委員会連絡協議会事務長	鈴木 正恵
県教育庁県北教育事務所長	古山 直一
〃 県中教育事務所長	添田 信一
〃 県南教育事務所長	館 光雄
〃 会津教育事務所長	佐竹 虎男
〃 南会津教育事務所長	永沢電四郎
〃 相双教育事務所長	鈴木 栄
〃 いわき教育事務所長	石井 六郎